



 FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.

フジ・メディア・ホールディングス レポート

株主の皆様へ 第69期 報告書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

**踊る
大捜査線**

THE MOVIE 3

ヤツらを解放せよ!

7.3(sat)ROADSHOW



メディア・コンテンツ産業の リーディングカンパニーとして

代表取締役会長
(Chairman & CEO) 日枝 又

代表取締役社長
(President & COO) 豊田 皓

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社及び当社グループは、一昨年10月に放送事業を中核とした認定放送持株会社体制へ移行して以来、放送の公共的使命と社会的責任を大切にし、放送番組を中心に映画、イベント、映像・音楽作品、生活情報など、視聴者・利用者の皆様に信頼され広く支持される

良質なソフト・コンテンツを制作・提供しております。同時に、グループ内の積極的な事業連動と多様な媒体の活用を通じて、ソフト・コンテンツから生まれる価値・収益を最大化することに努めてまいりました。

しかし当期は、一昨年の秋以来続く広告市況や個人消費の低迷により、当社グループにとって大変厳しい事業環境となりました。そのような中、グループのガバナンスを強化し、各社におけるコスト管理を徹底した結果、当期連結業績は減益ながら、各社の収益体質の改善が進み、3期目（平成22年度）以降、大幅な増益を見込める体制が整ったと考えております。

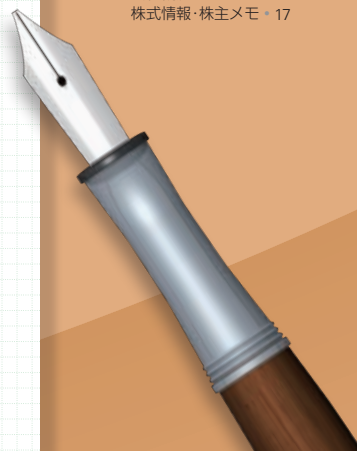
今後も、新しいメディアやコミュニケーションサービスの出現による外部環境の変化や、生活者のライフスタイルの変化などを的確に捉える不断の努力によって、メディア・コンテンツ産業のリーディングカンパニーとしてトップの地位を磐石なものにしてまいります。そして、これまで以上に安定的に収益を確保しながら持続的成長を可能にする強靱な事業基盤をつくり、グループの企業価値を高め発展させることで、株主の皆様のご期待に応えるべく努めてまいります所存です。

何とぞ、これからも当社グループに対して倍日のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

Contents

- ごあいさつ・1
- 業績ハイライト・3
- 主要連結財務データ・5
- 主要各社業績・6
- Fuji Media Holdings Outline・7
- CSR通信 Vol.7・15
- 会社概況・16
- 株式情報・株主メモ・17

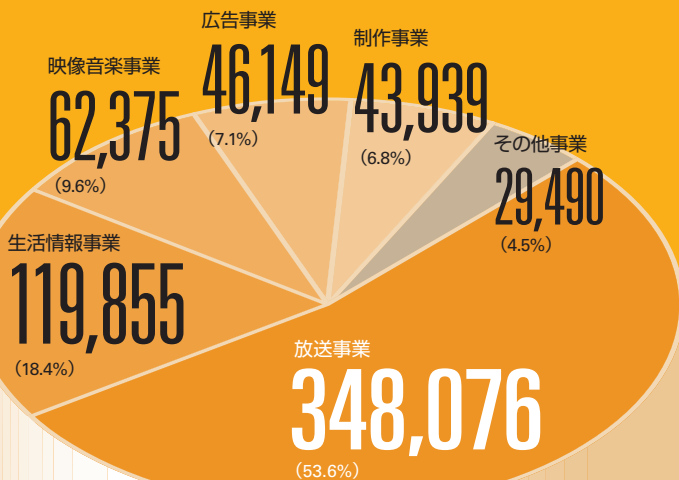


Financial Highlights 業績ハイライト

当期の連結業績は、新たに(株)セシールと協同広告(株)がグループに加わったことにより、連結売上高は増収になりました。しかし、広告市況や個人消費の低迷により、ほとんどの子会社で業績が振るわず大幅減益となりました。

グループの主力である(株)フジテレビジョンは、放送収入の落ち込みが大きく、番組制作費等の放送事業原価や、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの減収をカバーしきれず、放送事業は減収減益となりました。制作事業は番組制作受注の減少により減収減益。映像音楽事業は前期ほどのヒット作がなく減収減益となりました。生活情報事業は(株)サンケイリビング新聞社が増益となりましたが、全体では増収減益となりました。

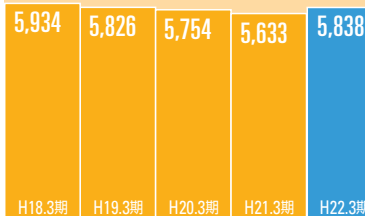
セグメント別売上高 (百万円)



※円グラフの各売上高は、セグメント間の内部売上高（66,043百万円）を含む数字です。

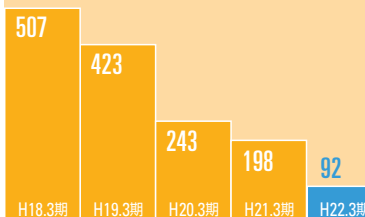
売上高 (億円)

5,838 億円
(+3.6%)



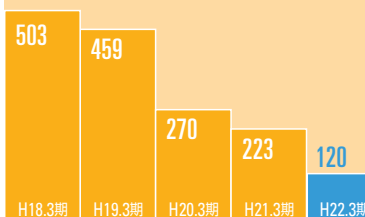
営業利益 (億円)

92 億円
(-53.2%)



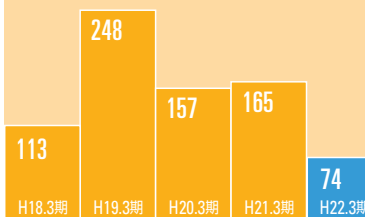
経常利益 (億円)

120 億円
(-46.1%)



当期純利益 (億円)

74 億円
(-55.0%)



() は前期比

主要連結財務データ

(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
売上高	593,493	582,660	575,484	563,320	583,843
営業利益	50,724	42,325	24,372	19,830	9,279
経常利益	50,340	45,995	27,056	22,365	12,060
当期純利益	11,345	24,846	15,770	16,567	7,459
総資産	692,357	731,496	677,000	683,523	753,191
純資産	462,903	469,586	456,077	453,395	464,187
1株当たり純資産(円)	200,803.02	201,008.38	195,967.51	194,864.16	199,432.99
1株当たり当期純利益(円)	5,109.42	10,811.13	6,847.60	7,193.40	3,238.69
1株当たり配当金(円)	4,000.00	5,000.00	3,600.00	3,600.00	1,600.00

主要各社業績

(単位：百万円)

		平成21年3月期	平成22年3月期
(株)フジテレビジョン 	売上高	347,877	327,359
	営業利益	17,872	9,884
	経常利益	22,373	10,224
	当期純利益	9,426	6,392
(株)ニッポン放送 	売上高	22,518	20,834
	営業利益	166	△174
	経常利益	200	△207
	当期純利益	66	△399
(株)ポニーキャニオン 	売上高	54,976	49,759
	営業利益	1,609	228
	経常利益	1,874	755
	当期純利益	966	605
(株)ディノス 	売上高	60,954	57,989
	営業利益	662	376
	経常利益	695	390
	当期純利益	182	447
(株)クオラス 	売上高	34,007	33,794
	営業利益	△12	△69
	経常利益	△39	△78
	当期純利益	△247	△60

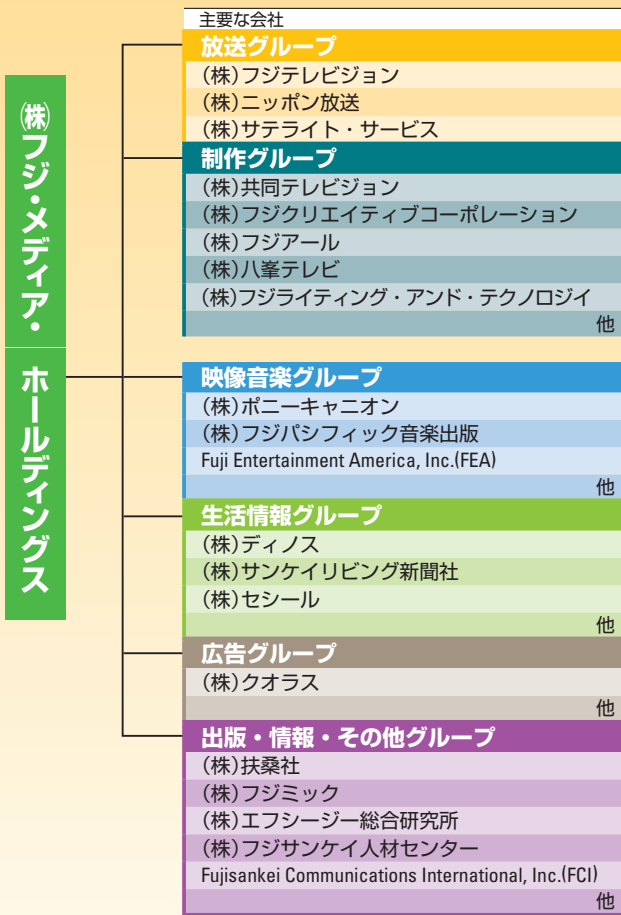
当連結期間中の株セシールにつきましては、平成21年7月から平成22年3月までの業績で、売上高(42,616)、営業利益(126)、経常利益(0)、当期純利益(△2,045)です。

Fuji Media Holdings Outline

フジ・メディア・ホールディングス アウトライン

認定放送持株会社フジ・メディア・ホールディングスのグループは、6グループ20社の中核子会社で構成されています。(株)フジ・メディア・ホールディングスは事業面で緊密な関係を有する関連会社を始め、フジサンケイグループ各社と事業・文化活動においてさらに連携を強めてまいります。

グループ組織概略図



関連会社：(株)産業経済新聞社、(株)サンケイビル、
(株)ビーエスフジ、(株)フジランド、
(株)スタジオアルタ 他

フジテレビは、平成21年度も引き続き、高い視聴率を維持することができました。ゴールデン(19時~22時)、プライム(19時~23時)、全日(6時~24時)の時間帯で、関東地区において民放テレビ局トップの視聴率を獲得し、6期連続の「三冠王」となりました。

Broadcasting 放送グループ

TV Program テレビ番組

Drama | ドラマ

「東京DOGS」



「東京DOGS」(出演小栗旬、水嶋ヒロ)では新しい刑事ドラマに挑戦し、話題をさらいました。そして、「コード・ブルー2」(主演山下智久)は前作を超えるクオリティとリアリティで高視聴率を獲得。ドラマ不況が囁かれる中、フジテレビは他局の追隨を許さない圧倒的な強さを発揮しました。

圧倒的な一人勝ち フジテレビドラマは絶好調

Variety | バラエティ

「MUSIC FAIR 2300回記念コンサート」



昭和39年8月スタートの「MUSIC FAIR」は今年3月に2,300回を迎え大阪で盛大な記念コンサートを開催。昭和57年10月4日スタートの「笑っていいとも!」は今年2月4日で7,000回を突破。これからも皆様に永く愛される番組で在り続けます。

2,300回記念 & 7,000回突破

Life Information | 情報

「めざましテレビ」は、音楽や映像文化の世界で大きな発信力を持つ番組に成長、ついに年間視聴率トップとなりました。

「とくダネ!」も9年連続で視聴率首位。二つの看板番組が、大切なものは何かを問いかけた「探そう! ニッポン人の忘れもの」プロジェクトは大反響を呼びました。



「めざましテレビ」

初の年間
視聴率トップ

Sports | スポーツ

瞬間最高
37.2% 国民大注目の戦いを放送



「2009全日本フィギュアスケート選手権」

これまでF1やバレーボールなど数々の世界的大会を中継してきましたが、当期は全日本フィギュアでの熾烈な代表争いや世界フィギュアでの浅田・高橋両選手のアベック優勝を放送し、高視聴率を獲得。「すばると!」は他局にはないデイリースポーツ番組として日々情報を発信しています。

「FNNスーパーニュース」は、8年連続視聴率トップを達成。「新型インフルエンザ国内感染」や「チリ地震大津波警報」など国民の生命安全に関わる報道特番を随時放送。ドキュメントドラマでは阪神・淡路大震災で被災しながらも新聞を発行し続けた「神戸新聞の7日間」を放送し高い評価を得ました。



「FNNスーパーニュース」

News | 報道

8年連続首位
夕方激戦区で

UHB 北海道文化放送(株)
MIT (株)岩手めんこいテレビ(株)仙台放送
AKT 秋田テレビ(株)
SAY (株)さくらんぼテレビジョン
FTV 福島テレビ(株)
(株)フジテレビジョン
NST 新潟総合テレビ
NBS (株)長野放送
SUT (株)テレビ静岡
BBT 富山テレビ放送(株)
ITC 石川テレビ放送(株)
FTB 福井テレビ放送(株)
THK 東海テレビ放送(株)
KTV 関西テレビ放送(株)
TSK 山陰中央テレビジョン放送(株)
OHK 岡山放送(株)
TSS (株)テレビ新広島
EBC (株)テレビ愛媛
KSS 高知さんさんテレビ(株)
TNC (株)テレビ西日本
STS (株)サガテレビ
KTN (株)テレビ長崎
TKU (株)テレビ熊本
TOS (株)テレビ大分
UMK (株)テレビ宮崎
KTS 鹿児島テレビ放送(株)
OTV 沖縄テレビ放送(株)

Movie
映画全17作品
興行収入240億円

「のだめカンタービレ最終楽章 前編」

©2009フジテレビ/講談社/アミューズ/東宝/FNS 27社

フジテレビ史上最多となる17本の映画を公開し、その興行収入合計はおおよそ240億円、平均興行収入は14億円と極めて高いレベルを達成しました。なかでも「劔岳 点の記」(25.8億円)「アマルフィ 女神の報酬」(36.5億円)「ワンピース フィルム ストロングワールド」(47.9億円)「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」(40.5億円)「ライアーゲーム ザ・ファイナルステージ」(23.3億円)の5作品が興行収入20億円以上の大ヒットとなりました。

CS

CS放送

「フジテレビONE/ TWO/NEXT」絶好調

本格的HD3チャンネル体制となった「フジテレビONE/TWO/NEXT」では、28年ぶりの復活となった“アリス”の神田共立講堂、日本武道館、東京ドーム公演を生中継。フジテレビNEXT開局記念ドラマ「ニュース速報は流れた」ほか魅力のあるコンテンツを次々放送し、話題となりました。

「28年ぶりとなった
“アリス”の復活ライブを
生中継！」

Event
イベント

幅ひろく「オーケストラ」も大人気



『東芝グランドコンサート』

開局50周年企画“シルク・ドゥ・ソレイユ”「コレテオ」は各地方公演で大成功を収め、仙台でフィナーレを迎えました。他に映画公開記念「のだめオーケストラコンサート最終楽章」やロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団による「東芝グランドコンサート」も大人気でした。

『キミフジ』

Digital Content デジタルコンテンツ

堅調な携帯サイト事業に加え、新たに映像配信事業「フジテレビ On Demand」が売上に貢献。拡大するインターネット広告市場への対応のためホームページの全面リニューアルを実施。ゲームポータルサイト「キミフジ」の開始など新しいサービスにも積極的に取り組んでいます。

ひとつ先を行く
サービスを



Rights Business ライツビジネス



『銀座めざマルシェ』

DVD市場低迷の中、「風の国」「すべらない話シリーズ」「ブザー・ビート」などが大ヒット。番組関連商品の売上也堅調に推移。「めざましテレビ」プロデュースの全国物産館「銀座めざマルシェ」のオープンなど、新たなビジネスにも積極的に取り組んでいます。

新規ビジネスにも
積極的にチャレンジ

Radio ラジオ

開局55周年 特番やイベントが大好評

㈱ニッポン放送は平成21年7月15日に開局55周年を迎えました。「オールナイトニッポン歌伝説」や「番組一押し！有楽町歌伝説」等のビッグイベントを実施するとともに、記念特別番組の目玉として山本一力原作のラジオドラマ「くじら」を大晦日に放送し、好評を得ました。



『番組一押し！
有楽町歌伝説』

Production 制作グループ

多彩に
多数制作



映画「ブラック会社に勤めてるんだが、もう俺は限界かもしれない」

㈱共同テレビジョンは、「火曜夜9時ドラマ」や「カスペ!」の他、ゴールデンタイムのバラエティ番組などを多数制作し、成果を残しました。また、映画製作にも意欲的に取り組みました。

行くメディアの先端を
FCC

㈱フジクリエイティブコーポレーション(FCC)は、「くちこみっ!スペシャル」などが好評を博し、レギュラー化につながりました。また、オンデマンドの権利処理やHDプリント業務などの新しい分野にも進出しています。



『くちこみっ! 占い師スペシャル』

新たな感動を インスパイアするフジアール

制作、創造集団
最強の技術！

(株)フジアールは、テレビ番組では「わが家の歴史」、映画では「のだめカンタービレ」、イベントでは「お台場合衆国」や「コレテオ」等で美術全般をプロデュースするプロのクリエイティブ集団として、確かな技術と創造力で、質の高いコンテンツを制作し、貢献しています。

(株)八峯テレビは、地上波を始めBS・CS放送を含めた幅広い放送分野で、数多くの番組の技術部門と制作部門を担当しています。また、広告代理店業務や各種イベントの企画、運営など多岐にわたる業務を行う「総合プロダクション」です。

AMAZING LIGHTING

(株)フジライティング・アンド・テクノロジーは、テレビ・映画・イベント等の照明、BS・CS放送の送出支援業務などでクオリティの高い技術を提供しています。



Life Information 生活情報グループ

紙面とイベント の連動が大成功

【リビング横浜南】

(株)サンケイリビング新聞社は、(株)扶桑社と共同で実施した「シュフフェス」や「キラフェスタ」などのイベントを多数企画し、好評を博しました。モバイルサイト「シュフモ」も会員70万人を突破しています。



ネット通販でファストファッションを実現

(株)セシールが展開する20歳代をターゲットにした低価格のブランド「アニタ・アレンバーグ」は、ネット通販でのファストファッションとして、引き続き好調に推移しています。



【アニタ・アレンバーグ】



カタログ「ダーマ・コレクション」

(株)ディノスは、ファッションカタログや美容健康ジャンルで、高付加価値・高単価商品がヒットしたほか、平日午前枠のテレビ通販「いいものプレミアム」が好調を継続し、メディアミックスで売上を伸ばしました。

TV通販でヒット商品

Video & Music 映像音楽グループ

つるの剛士「つるのおと」

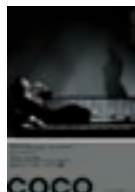


(株)パニーキャニオンは、映画「アマルフィ」や「クイズ!ヘキサゴンII」の関連作を始め、つるの剛士の「つるのおと」や「つるのおと」等がヒットしました。アニメ「けいおん!」をTV・DVD・CDでマルチ展開し、大ヒットしました。

厳しい市場環境の中も、
多メディア展開で

Advertising 広告グループ

「広告×エンタメ×
コンテンツへの挑戦」



Broadway Musical「COCO」

(株)クオラスが初めて企画・製作・主催したミュージカル「COCO」は、月刊ミュージカル誌による「2009年ミュージカル・ベストテン」において、第1位を獲得し、高い評価を得ました。

Superflyがヒット連発

(株)フジパシフィック音楽出版は、ビッグ・アーティストに成長したSuperflyがヒットを連発し、大ヒットドラマ「BOSS」の主題歌：「My Best Of My Life」のシングル・ヒットや、2ndアルバム「Box Emotions」、DVD「ROCK 'N' ROLL SHOW 2008」など、全てのアイテムがヒットしました。



Superfly「BoxEmotions」

Fuji Entertainment America, Inc. (FEA)は、「サーフィンUSA」など名曲著作権を多く保有する音楽出版社アーク・ミュージックを9月に取得しました。ボルボが欧州CMでチャック・ベリーの「ノー・パティキュラー・プレイス・トゥー・ゴー」を使用するなど、世界で権利利用されています。



【FEAのスマッシュ・ヒット集】

ロックンロールの
名著作権を取得

Others

出版・情報・
その他グループ

人気番組の関連 書籍が大ヒット

(株)扶桑社は、映画の原作「アマルフィ」(11万部)、「私服だらけの中居正広増刊号」(58万部)、「ヘキサゴンドリル4」(8万5千部)などの番組関連本がベストセラーとなりました。



【私服だらけの中居正広増刊号】

(株)フジ・メディア・ホールディングスではCSRを、当社及びグループ各社の持続的な成長を確保するための活動と位置づけています。そのため、フジ・メディア・ホールディングスCSR推進連絡会議を定期的に開催し、グループ各社のCSR情報を共有するとともに、共通のテーマを設けて活動しています。

環境活動

グループ各社共通の環境活動として、省資源のための3R推進のほか、省エネとメタボ対策を狙った「皆揃って階段児！」キャンペーンを継続的に実施しています。

また各社の事業内容に沿った環境活動では、(株)ディノスがエコ情報・商品を集めた「エコトイコト。」サイトをオープン。

(株)サンケイリビング新聞社では、園児とママの情報誌「あんぷあん」が「土に触れよう！プロジェクト」を展開し、幼稚園児親子に自然・環境・食育を考えてもらう活動をしています。



統一ポスターを作成して展開中

社会貢献活動

グループ各社共通の社会貢献活動として、当期から各社のチャリティ募金活動をグループ各社が応援する体制を整えました。昨年12月に行われた(株)ニッポン放送の「第35回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」は目の不自由な方への「通りゃんせ基金」の募金活動を展開していますが、今回からグループ各社も放送当日の手伝いをしました。

また各社の事業内容に沿った社会貢献活動では、(株)エフシージー総合研究所が始めた子どもたち対象の「食育プロジェクト」を、フジテレビを始めとするグループ各社が協働して継続的に展開。食に関わる社会貢献活動として注目されています。



食育プロジェクトでのオリジナル体験

会社概況

会社概要 (平成22年3月31日現在)

会社名	株式会社フジ・メディア・ホールディングス (FUJII MEDIA HOLDINGS, INC.)
事業内容	認定放送持株会社
設立	昭和32(1957)年11月18日
決算期	3月31日
資本金	1,462億35万円
連結従業員数	6,013名
本社	〒137-8088東京都港区台場二丁目4番8号

役員 (平成22年6月30日現在)

代表取締役会長	日枝 久	取締役	松岡 功	常勤監査役	尾上 規喜
代表取締役社長	豊田 皓	取締役	三木 明博	常勤監査役	瀬田 宏
専務取締役	太田 英昭	取締役	石黒 大山	監査役	茂木友三郎
常務取締役	嘉納 修治	取締役	横田 雅文	監査役	南 直哉
常務取締役	飯島 一暢	取締役	寺崎 一雄	監査役	奥島 孝康
取締役	遠藤龍之介	取締役	清原 武彦		
取締役	鈴木 克明				
取締役	稲木 甲二				

お知らせ



ホームページのご案内

フジ・メディア・ホールディングスのホームページでは、最新のIRニュースや決算情報などがご覧いただけます。

www.fujimediagd.co.jp

<株主優待内容変更のお知らせ>

当社の株主優待制度は、下記のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

① 変更の理由：当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する魅力を高めることを目的として、平成20年以降、複数の商品から1点を選択していただく方式の株主優待制度を実施してまいりました。しかしながら、昨今の業績動向を踏まえ、株主優待品を以下のとおり変更しましたのでお知らせいたします。

② 変更内容

(1) 対象株主：毎年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された1株以上を保有する株主様。

※従来は、3月31日時点の株主様を対象としておりましたが、本年より9月30日時点の株主様が対象となります。

※従来は、株主優待申込み葉書によりお申し込みいただいた株主様のみを対象としておりましたが、本年よりお申込みの確認は実施せず、対象となる全株主様に優待品をお送りいたします。

(2) 優待内容：当社オリジナル手帳を贈呈いたします。

(3) 贈呈の時期：12月上旬に発送する予定のフジ・メディア・ホールディングスレポートに同封いたします。

株式情報 (平成22年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 9,000,000株
発行済株式の総数 2,364,298株
株主数 70,196名

(注)発行済株式の総数には自己株式及び放送法に基づき名義書換を拒否した株式(外国人持株調整株式)が含まれております。

大株主

株主名	持株数(株)	比率(%)
東宝株式会社	183,221	7.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	132,412	5.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	130,414	5.52
シービーニューヨークオービスファンズ	98,205	4.15
株式会社文化放送	77,920	3.30
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	77,000	3.26
シービーニューヨーク オフィス エイアイン・アヴィー	54,744	2.32
関西テレビ放送株式会社	54,461	2.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社電通口)	46,500	1.97
株式会社ヤクルト本社	39,690	1.68

(注)上記のほか、当社所有の自己株式61,202株があります。

所有者別株式分布状況

●株主数

政府及び地方公共団体	1名	(0.0%)
金融機関	121名	(0.2%)
金融商品取引業者	36名	(0.1%)
その他の法人	528名	(0.8%)
外国法人等	459名	(0.7%)
個人その他	69,051名	(98.4%)

●株式数

政府及び地方公共団体	2株	(0.0%)
金融機関	602,087株	(25.5%)
金融商品取引業者	40,806株	(1.7%)
その他の法人	735,136株	(31.1%) (注1参照)
外国法人等	460,619株	(19.5%) (注2参照)
個人その他	525,648株	(22.2%) (注3参照)

(注1)「その他の法人」には、証券保管振替機構(失念株式)名義の株式が403株含まれております。

(注2)放送法で定める外国人等の有する議決権数の当社議決権総数に占める割合は19.99%です。

(注3)「個人その他」には、自己株式61,202株及び放送法に基づき名義書換を拒否した株式(外国人持株調整株式)119,271株が含まれております。

(注4)比率は小数第2位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日

配当金受領の株主確定日 3月31日及び中間配当を行う場合は9月30日

定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

公告の方法 産業経済新聞に掲載します。

外国人等の株主名簿への記載・記録の制限等

当社は、放送法で定める外国人等(①日本の国籍を有しない人、②外国政府又はその代表者、③外国の法人又は団体、④「①から③までに掲げる者」により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人又は団体)の有する議決権について、①から③までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合とこれらの方により④に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合とを合計した割合が、議決権の20%以上となる場合には、放送法の規定により、認定放送持株会社の認定が取り消されることとなります。そのため、このような状態に至るときには、放送法の規定に基づき、外国人等からの株式の名義書換請求等による株主名簿への記載・記録を拒否し、又は、外国人等の議決権行使を制限することができるとされています。

お知らせ

○配当金計算書について

- 配当金を配当金領収証にてお受取りの株主様へ
本年お受取りの配当金について確定申告を行う場合は、配当金領収証に同封いたしました「配当金計算書」が添付書類となります。
注)「配当金計算書」は、租税特別措置法上の「支払通知書」を兼ねた書類ですので、確定申告の際にご利用いただけます。
- 配当金の受取方法として、口座振込を指定されている株主様へ
同様に確定申告を行う場合は、同封の「配当金計算書」が添付書類となります(従来どおり)。
- 配当金の受取方法として、証券会社に「株式数比例配分方式」を利用されている株主様へ
確定申告を行う際の添付書類等につきましては、お手数ですがお取引の証券会社にお問合せください。

株式に関するお手続き

- 株式に関する各種お手続き(住所変更、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問合せください(ただし、郵送物等の発送と返戻に関するご照会と株式事務に関する一般的なお問合せは、株主名簿管理人：下記フリーダイヤルにお問合せください)。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、「特別口座」で管理されております。「特別口座」に関する各種お手続き(証券会社の口座への振替、住所変更、配当金受領方法の指定など)は、従来どおり、みずほ信託銀行株式会社にてお取扱いいたします(同行各支店においても取次ぎを受け付けます)。
なお、「特別口座」の詳細につきましては、下記のフリーダイヤルにお問合せください。
○フリーダイヤル 0120-288-324
- 未払配当金の取次ぎにつきましては、「みずほ信託銀行株式会社全国各支店」又は「みずほインベスターズ証券株式会社本店及び全国各支店」においても受け付けます。